

Eternita  
弦楽合奏団

弦楽合奏団

# エテルニータ 第5回コンサート

2008年1月14日(祝) 栃木県総合文化センター サブホール

後援 宇都宮市 宇都宮市教育委員会 下野新聞社 RADIO BERRY 栃木放送

## ごあいさつ

本日は弦楽合奏団「エテルニータ」のコンサートにご来場くださりまして、心から感謝申し上げます。

今回も客演にヴァイオリニストの桐山建志氏をお迎えすることができ、

エテルニータは素晴らしいソリストと指導者に恵まれ、とても幸せに思います。

桐山氏は何度も宇都宮へ足を運んでくださり、未熟な私たちを根気よく指導してくださいました。

桐山氏の温かく優しいお人柄と、素晴らしい音に魅了されながら、練習を重ね、

エテルニータはきっと素晴らしい合奏団に生まれ変わったことと思います。

桐山氏独奏によるメンデルスゾーンの協奏曲二短調は、10代で作曲されたもので、

おそらく栃木県初演になると思います。

有名なホ短調と並び、これも素晴らしい曲です。

また、宇都宮短期大学附属高校音楽科で学んだ有志が中心となり結成されたエテルニータ、

その私たちの仲間であるファゴット奏者の吉澤真一氏（東京フィル団員）をお迎えし、

ヴィヴァルディのファゴット協奏曲を共演できることも大変光栄であり、嬉しく思っております。

豪華なソリストをお迎えしてのコンサートを、どうぞ最後までごゆっくりお楽しみください。

川沼文夫

### 桐山建志

KIRIYAMA, Takeshi



長野県出身。3才より才能教育でヴァイオリンを始める。

東京芸術大学を経て同大学院修了。フランクフルト音楽大学卒業。

1998年、第12回古楽コンクール「山梨」第1位、第10回栃木「蔵の街」音楽祭受賞。

1999年ブルージュ国際古楽コンクールソロ部門第1位。

2005年、古楽コンクール「山梨」の審査員を務める。

現在「オーケストラ・シンポジオン」コンサート・マスター、「エルダーデイ弦楽四重奏団」ヴィオラ奏者、バロック・アンサンブル「コンヴェルスム・ムジクム」「ラ・フェート・ギャラント」のメンバーを務めるなど、室内楽を中心に活動中。フェリス女学院大学非常勤講師。下野楽遊「奏楽塾」講師。

これまでにヴァイオリンを鳥羽尋子、天満敦子、岡山潔、W.フォルヒェルト、バロック・ヴァイオリンをA.レーリヒ、M.ウティガー、室内楽を岡山潔、H.プフェルガー、M.シュナイダーの各氏に、作曲を小山清茂氏に師事。レコード芸術特選盤「シャコンヌ」(CAIL-728)を皮切りに、多数のCDを主にコジマ録音よりリリース。シリーズCD「ヴァイオリン音楽の領域」(ALCD-1045.1055)などでも高い評価を得る。

### 吉澤真一

YOSHIZAWA, Shinichi



宇都宮短期大学附属高校音楽科を経て東京芸術大学卒業。

第51回日本音楽コンクール入選。

東京フィルとモーツァルト協奏交響曲、東京プリステンとヴィヴァルディ協奏曲ホ短調を共演。

鈴木憲夫「プレリュードとカプリッチョ」「ファンタジー」初演。

C. グルディンスキー「インプレッション」、

バガニーニ「ヴァイオリンとファゴットの為の協奏的二重奏曲」本邦初演。

山田栄二「オペレッタ・不思議の国のアリス」完成版初演指揮。

1993年、バンドジャーナル「ワンポイントレッスン」一年間担当。

1995年、シンガポール（チャーチルホール）にてジョイントリサイタル。

現在「東京フィルハーモニー交響楽団」「アンサンブルオーケストラ・エローラ」団員。

宇都宮短期大学、埼玉県松伏高校非常勤講師。

## プログラムと解説

### テレマン ヴィオラ、弦楽と通奏低音のための協奏曲 ト長調 TWV51/G9

*Concerto in G major for Viola, Strings and Basso continuo TWV51/G9* ⇒ ヴィオラ / 桐山建志

テレマンは、18世紀前半に活躍したドイツ・バロック大作曲家である。当時は、同時代のバッハやヘンデルをしのぐ人気があり、ドイツ最高の作曲家とさえ言われた。

非常に多作家であり、オペラ、器楽曲、宗教曲といったあらゆるジャンルの作品を残している。ほとんど独学で作曲を学び、オルガン、チェンバロ、ヴァイオリン、ブロックフレーテ、リュート・・・といった多くの楽器の名手でもあった。

バッハのような完成度の高さはないが、ユーモアと機智に富んだその作風は、大衆の心をつかんで放さない魅力を持っている。特に、「ドン・キホーテ組曲」や「ハンブルクの潮の干満」といった標題音楽風な組曲にみられる描写は、ユーモラスでとても楽しい。

テレマンのヴィオラ協奏曲は残念ながら1曲しか残されておらず、ヴィオラのための数少ないレパートリーの一つとして貴重なものとなっている。全体的に派手さはないが、ヴィオラ独特の落ち着いた音色を味わう事が出来るであろう。

当時の協奏曲の多くが急 - 緩 - 急の3楽章の形をとっているのに対し、古い教会ソナタのスタイルである緩 - 急 - 緩 - 急の4楽章で書かれている。

- 第一楽章 ラルゴ
- 第二楽章 アレグロ
- 第三楽章 アンダンテ
- 第四楽章 プレスト

### ヴィヴァルディ ファゴット、弦楽合奏と通奏低音のための協奏曲 イ短調 RV497 F8/7

*Concerto in a minor for Fagotto, Strings and Basso continuo RV497 F8/7* ⇒ ファゴット / 吉澤真一

現存するものだけでも、450曲に及ぶおびただしい数の協奏曲を残したヴィヴァルディ。

なかでも、ヴァイオリン協奏曲の数は圧倒的に多くその半数を占めるが、それに次いで多いのが意外にもファゴットのためのものである。と言っても39曲ではあるが、この数はよりポピュラーな楽器であるフルート、オーボエやチェロの協奏曲よりもはるかに多いのだ。

どのようないきさつで書かれたのかは不明であるが、当時、ヴィヴァルディの周囲にはよほど優れたファゴット奏者がいたのであろう。彼が関係したヴェニスの子供養育院の生徒のために書かれたとの説もあるが、もしそれが正しければ、この孤児たちの技術は驚くべきものと言わざるをえない。

39曲の協奏曲は、どれを聞いても大同小異の感は否めないが、いずれもファゴットのもつ可能性をあますところなく引き出している。この「イ短調」も、急速なスケールやアルペジオなどの名人芸的なパッセージが、軽快なスタッカートや豊かなレガートを伴って心地良く奏されていく。

当時の他の協奏曲と同じように、急 - 緩 - 急の3つの楽章で構成されている。

- 第一楽章 アレグロ・モルト
- 第二楽章 アンダンテ・モルト
- 第三楽章 アレグロ

### メンデルスゾーン ヴァイオリンと弦楽のための協奏曲 ニ短調（第二稿）[栃木県初演]

*Violin Concerto in d minor (second version)* ⇒ ヴァイオリン / 桐山建志

メンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲というと、誰もがすぐにあの有名な「ホ短調」を思いうかべる。ベートーヴェン、ブラームスの曲とともに、「三大ヴァイオリン協奏曲」と呼ばれる名曲である。しかし、メンデルスゾーンには若い時に書かれたもう一つのヴァイオリン協奏曲があった。それが本日演奏される「ニ短調」である。

天賦の才能ばかりでなく、富裕な家庭に育ち、幼い頃から恵まれた教育を受けていたメンデルスゾーンは、十代からすでに多くの作品を発表していた。この協奏曲も、1822年、彼が13歳の時に作曲されている。私的な演奏会で初演されたらしいが、楽譜は出版されず、彼の死後長い間埋もれたままとされていた。しかし、1951年にヴァイオリニストのメニューインがイギリスに住んでいたメンデルスゾーンの親族からこの曲の自筆譜を見せられ、翌年、カーネギー・ホールで公開演奏を行う事によって再び世に知られることとなる。曲想は大変若々しく、13歳の少年の作とは思えないほど完成度も高い。「ホ短調」と比べたらその魅力には及ばないとしても、後年のメンデルスゾーンの面影を十分にしのばせるものがある。まさしく、メンデルスゾーンの早熟さを示す若き日の記念作と言える。

伝統的なスタイルによる3つの楽章から出来ているが、旋律が美しい第二楽章が特に魅力的である。

- 第一楽章 アレグロ
- 第二楽章 アンダンテ
- 第三楽章 アレグロ

ホルスト セント・ポール組曲 op.29-2

St. Paul's Suite for String Orchestra ⇒ ゲストコンサートマスター / 桐山建志

「惑星」が大人気のホルストだが、わが国で「惑星」以外の作品を耳にすることはあまりない。せいぜいこの「セント・ポール組曲」と「吹奏楽のための組曲」ぐらいではないだろうか。「惑星」があまりにも面白いので、ついで他の曲も期待してしまうのだが、ホルストの作品の本質はいたっておとなしく地味なものである。

ホルストは、1905年から終生ロンドン近郊のセント・ポール女学校の音楽教師をしていたが、1913年、同校の弦楽オーケストラのためにこの曲を書き上げた。イギリス・ルネサンス期の民謡や舞曲を土台とした親しみやすい音楽で、多くの人々に演奏されている佳曲である。

第一曲 ジーグ (ヴィヴァーチェ)

ジーグは、16世紀のイギリスで流行した活発な性格の舞曲。ここでは $\frac{6}{8}$ と $\frac{3}{8}$ の交替する拍子で書かれた力強いユニゾンの主題で開始される。

第二曲 オスティナート (プレスト)

第2ヴァイオリンが奏する素早い音型が絶えずくり返される軽妙な音楽。

第三曲 間奏曲 (アンダンテ・コン・モート)

低弦のピッチカートの上に、ソロヴァイオリンが美しい抒情的な旋律を奏していく途中、対照的な速い舞曲と交替する。

第四曲 フィナーレ (アレグロ)

ルネサンス時代のフォーク・ダンス曲<ダーガソン>の旋律が何回もくり返され、やがて有名なイギリス民謡<グリーン・スリーヴス>が対位的に加わりクライマックスを築いていく。

(作編曲家：山田栄二)

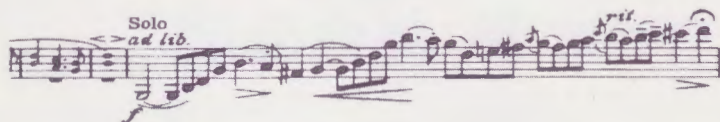


弦楽器専門店スプルス

弦楽器の販売・修理・調整・製作・教室・ハープの販売・教室

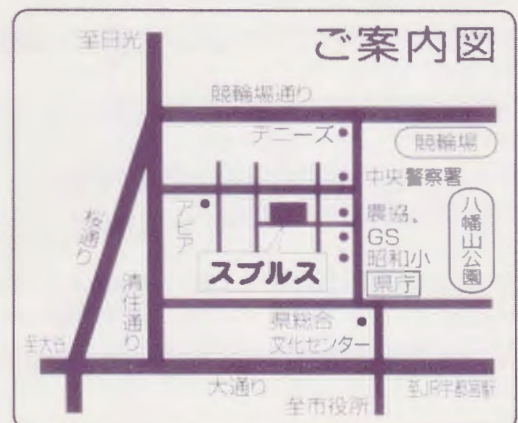
**Spruce** ●営業時間/10:00am~6:30pm  
●定休日/水曜日・第2,4木曜日

〒320-0031 宇都宮市戸祭元町3-17 TEL/FAX.028-600-1520



日本弦楽器指導者協会・日本ハープ協会・栃木県演奏者会 窓口

- 駐車場完備 ●関東バス停留所 徒歩1分(中央警察署前)
- 商品送付ご依頼可能





## 弦楽合奏団「エテルニータ」出演者



### ヴァイオリン

#### 青柳敬子

宇都宮短期大学卒業。  
増田貴子、星野和夫、吉村成司、鈴木鎮一の各氏に師事。  
才能教育研究会宇都宮支部バイオリン科指導者。  
スズキアンサンブル「弦」メンバー。

#### 川俣洋子

国立音楽大学卒業、同大学大学院修了。  
岩本政蔵、井上武雄、鷺見健彰、鷺見四郎、石橋洋子、  
梅津南美子の各氏に師事。  
フリーの演奏家としてオーケストラ、室内楽等で活動の他、  
後進の指導にあたっている。  
アンサンブル・プリラントメンバー。

#### 小松崎倫子

武蔵野音楽大学卒業。宇都宮大学大学院修了。  
故 鈴木史子、吉村成司、萩原耕介の各氏に師事。  
宇都宮市立旭中学校教諭。

#### 篠原香乃子

武蔵野音楽大学卒業。  
故 永岡国雄、吉村成司、星野和夫、掛谷洋三、  
桐山建志の各氏に師事。  
後進の指導にあたる他、フリーの奏者として活動中。  
下野楽遊「奏楽塾」メンバー。

#### 土屋恵子

上野学園大学卒業。  
増田貴子、吉村成司、竹内茂の各氏に師事。  
後進の指導にあたっている。

#### 福富恵子

宇都宮短期大学卒業。  
吉村成司、鷺見健彰の各氏に師事。  
柿の木幼稚園ヴァイオリン講師、後進の指導にあたっている。

#### 村岡聖子

武蔵野音楽大学卒業。  
青柳敬子、星野和夫、田尻順、ゲオルギバデアフ、  
ヴィーツラフ・スニーチル、深山尚久の各氏に師事。  
カワイ音楽教室、柿ノ木坂芸術学校講師。  
真岡市民交響楽団コンサートミストレス。

#### 山田美津子

東京都立大学卒業。  
同大学管弦楽団にて山口裕之氏の指導を受ける。  
ヴァイオリンを星野和夫氏に師事。

### ヴィオラ

#### 川沼文夫

宇都宮短期大学、東京芸術大学別科卒業。  
立花和夫、吉村成司、鷺見四郎、中塚良昭、鈴木鎮一の  
各氏に師事。  
才能教育研究会宇都宮支部バイオリン科指導者。  
スズキアンサンブル「弦」メンバー。

### チェロ

#### 荒川育子

国立音楽大学卒業。  
後進の指導にあたっている。  
室内合奏団、オーケストラ等でも活動中。

### コントラバス

#### 笠原里恵

宇都宮短期大学卒業。  
増山一成氏に師事。  
現在、宇都宮短期大学研究科1年在学中。

#### 増山一成

東京芸術大学卒業。ウィーン国立音楽大学に留学。  
沖不可止、今村清一、江口朝彦、小野崎充、  
ルートヴィヒ・シュトライヒャーの各氏に師事。  
読売日本交響楽団コントラバス首席代行、  
東京ハルモニア室内オーケストラ コントラバス奏者、  
宇都宮短期大学附属高校音楽科非常勤講師。

### 【エキストラ】

ヴァイオリン ● 都原奈央 森本安弘

チェロ ● 今村 樂 玉川 克

ヴィオラ ● 亀山由紀子 中村淑江

スピネット ● 八木澤二美

### 【ステージマネージャー】

小林俊夫